

御茶ノ水界限めぐり

by 芳賀

平成の時代を締めくくる第7回史跡めぐりは、4月23日(火)で大勢の皆様にご参加いただきました。総勢18名(女性9名、男性9名)で「御茶ノ水界限」の以下の5コースを順に回り(ジュン散歩?)楽しんできました。

1. 第一のコースは、「**明治大学博物館**」の観覧です。
ホテルの様な建物で、解説者から考古(旧考古学～古墳時代の遺跡)、
刑事(江戸時代の拷問の様子など)、商品(地域の伝統文化の商品)の3ブースを1時間ほど
かけて説明・解説を頂きました。貴重な展示品で、この紙面では説明・報告は到底出来ません。
是非、興味がありましたら、観覧をお勧めします。なお、無料であり解説もありますよ。
2. 第二のコースは、博物館の同じフロアにある「**阿久悠記念館**」です。
同大学を卒業(文学部卒)したとのこと。
我々の誰でも知っている、都はるみ「北の宿」、沢田研二「勝手にしやがれ」など、
5,000曲以上を作詞したそうです。記念館は比較的にじんまりしてますが、展示品は濃厚です。
受付の女性が、親切に対応してくれました。一見に値するかも?ここも、無料です。

その後の昼食は、隣接する当大学の17階学生食堂(地上75mだって)で、修学旅行の中学生
と一緒にランチを頂きました(もちろん、自腹です)。お味の方は、値段にあったそれなりと
皆様の意見でした。(グルメ雑誌に掲載は無理かな) しかし、混雑を予想していたのですが、
ゆっくりとでき、そしてきれいな食堂でした。
3. 第三のコースは、明治大学から歩いて10分ほどの「**東京復活大聖堂(ニコライ堂)**」
拝観献金300円で、敬虔(けいけん)な説明を20分ほど受けました。
「ぜひ礼拝に来てみてください。聖なる場所で聖なる事に触れ、復活して永遠に生きる
という約束を目の当たりにしてみたいいかがでしょうか?」パンフに書いてありました。
建物は、国の重要文化財に指定されてます。宗教に興味がなくても、一見の価値はあります。
4. 第四のコースは、ニコライ堂からのんびり歩いて20分ほどの「**湯島聖堂**」です。
湯島聖堂は、孔子廟、昌平坂学問所(しょうへいざかがくもんじょ)跡を含む史跡だそうです。
そこは、緑豊かな木々に囲まれた敷地にあり、少し疲れたカラダに癒しを頂きました。
しかし、余り記憶に残らないような気がしたのは、自分だけかな。
5. 第五のコースは、湯島聖堂の裏側に位置する「**神田明神**」に行きました。
神田祭で有名な神社です。各々が勝手(?)に参拝したのですが、何をお願いしたのでしょうか。

敷地内には、新しく文化交流館が新設されており、外国からの訪問者が大勢いました。異文化交流が出来る絶好の機会でしたが、誰か交流者はいたのかなあ。参拝後に、全員で記念写真を撮り解散となりました。

今回は、天候にも恵まれ、チョット暑いくらいの陽気でしたが、全員が落ちこぼれもなく、元気に終えたことをクラブの皆様へ感謝して、平成時代の締めくくりと致します。次は、「令和」最初の史跡めぐりです。楽しみにしております。



「ニコライ堂」の正面で敬虔な気持ち？

ハイ、ポーズ!!



神田明神「御社殿」の前で誰にもじゃまされずに
ハイ、ポーズ!!